

U - 10 講座

経験年数10年未満の本校教職員を対象に任意の研修を行っています。

第1回目 9月 2日(金) 17:30~

講師 東中 数学教諭

テーマ「論理的思考力を育てる算数科の授業の在り方」

東中学校の先生を講師に指導して頂きました。



第2回目 9月 9日(金) 17:30~

テーマ「新学習指導要領の改訂を踏まえた授業の在り方」

講師 本校 主幹教諭

011(平成 23)年 9 月 8 日

U 10 新学習指導要領の改訂を踏まえた授業の在り方

主幹教諭 和田 亘

1 新学習指導要領の趣旨の理解

(1) 「言語活動の充実」

ア 言語活動とは、本校ではどのようなことだろう？

イ なぜ言語活動が大切であるか？

「児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実すること。」

小学校指導要領解説 総則編 P 5 2

次ページを見ると

「知識・技能を習得するのも、これらを活用し課題を解決するために思考し、判断し、表現するのもすべては言語によって行われるものであり、これらの学習活動の基盤となるのは、言語に関する能力である。」

小学校指導要領解説 総則編 P 5 3

ウ 言語活動とは

アでみなさんが答えたのは「言語技術」のこと。これが目的化していないか。

「言語活動」とは、全教育活動の中で培われるもの

各教科の用語を的確に使って表現する。

文章で説明する

など

(2) なぜ「めあて」と「ふり返り」が必要なのか？

板書に「めあて」と「ふりかえり」本校では「まとめ」を書いているが、これには根拠がありません。

新学習指導要領では、「言語活動の充実」と同じように、「見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視」とあり、「児童が学習の見通しを立てたり（めあて）学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫することが重要である。」

小学校指導要領解説 総則編 P 5 9

では以上をもとに、自分の授業をふり返ってみましょう。

児童の言語活動が設定されているか

話し方や聞き方等の技術を身につけさせているか。

無理やり「話し合い」をしていないか。

児童が本気で考えられる「よく練られた発問」を用意しているか。

1時間でどのような力を身に付けさせようとしているのか、はっきりと意図しているか。

教師の言語は適切か。また板書の言語は丁寧で正しいものか。

活動の目的に合った評価を行っているか。

教科の用語を用いた説明をさせているか。意識しているか。

(大体あっているではダメ)